

※※2010年10月改訂（第5版、「指定医薬品」規制区分廃止に伴う改訂）  
 ※2007年12月改訂  
 貯 法：遮光した気密容器  
 室温保存  
 使用期限：外箱に表示

回虫駆除薬  
 日本薬局方  
 劇薬 **サントニン**  
 ※ **サントニン**(日本新薬)原末  
 Santonin

日本標準商品分類番号

8 7 6 4 2 4

承認番号	21900AMX01360000
薬価収載	1950年9月
販売開始	1933年5月
再評価結果	1984年6月

**禁 忌**（次の患者には投与しないこと）  
 肝障害のある患者  
 [肝障害を悪化させるおそれがある。]

## 組成・性状

### 1. 組成

本剤は1g中、日本薬局方サントニン1gを含有する。

### 2. 製剤の性状

本剤は無色の結晶又は白色の結晶性の粉末である。においはなく、味ははじめないが、後にわずかに苦い。

## 効能・効果

回虫の駆除

## 用法・用量

サントニンとして、通常下記用量を1日2回空腹時、あるいは就寝前1回及び翌朝1回経口投与する。

年齢区分	1回用量
6歳未満	20mg
6歳以上12歳未満	40～80mg
12歳以上	100mg

## 使用上の注意

### 1. 相互作用

併用禁忌（併用しないこと）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
油性下剤 ヒマシ油 加香ヒマシ油	本剤の中毒症状（感覚異常、頭痛、悪心、腹痛等）があらわれることがある。	本剤の吸収が促進される。

### 2. 副作用

調査総症例2,951例中、副作用は94例（3.19%）に認められた。その主なものは腹痛（1.36%）、悪心（0.81%）であった。（再評価結果時）

種類	頻度	0.1～5%未満	頻度不明
消化器		腹痛、悪心、下痢、胃痛等	
精神神経系*		頭痛、めまい	
眼*			黄視（一過性）

\*これらの症状が翌日まで持続した場合には投与を中止すること。

### 3. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には投与しないことが望ましい。

[妊娠中の投与に関する安全性は確立していない。]

## 薬物動態

健康人にサントニン100mgを経口投与した場合、投与後3時間で最高血中濃度（43 $\mu$ g/mL）に達し、24時間以内に投与量の19%が未変化体として尿中に排泄される<sup>1)</sup>。

## 臨床成績

### 1. 虫卵保有者（回虫）に対する効果

#### 1) 排虫状況

排虫はサントニン経口投与翌日から始まり、2～3日後に最高となり5～7日後にほぼ終了する<sup>2),3)</sup>。サントニンの経口投与により66.3%（1,586/2,392）の排出率が認められている。

#### 2) 卵陰転状況

サントニン経口投与時の卵陰転率は39.3%（2,106/5,352）である。

## 薬効薬理

### 1. 虫体運動に対する作用

サントニンの経口投与により、虫体は正常運動型から無秩序な運動型へ移行後、運動性を失い、腸管蠕動により下行する排出態勢を示す（回虫保有者レントゲン観察<sup>4)</sup>）。

### 2. 虫体の物質代謝に対する作用

サントニンは回虫のリン酸代謝、糖代謝及び生体内酸化機構を阻害する<sup>5)～7)</sup>。

## 有効成分に関する理化学的知見

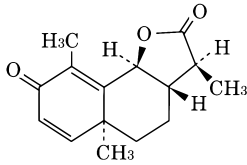
一般名：サントニン(Santonin)(JAN)

化学名：(3*S*, 3*aS*, 5*aS*, 9*bS*)-3, 5*a*, 9-Trimethyl-3*a*, 5, 5*a*, 9*b*-  
tetrahydronaphtho[1, 2-*b*]furan-2, 8(3*H*, 4*H*)-dione

分子式：C<sub>15</sub>H<sub>18</sub>O<sub>3</sub>

分子量：246.30

化学構造式：



性状：本品は無色の結晶又は白色の結晶性の粉末である。

本品はクロロホルムに溶けやすく、エタノール（95）にやや溶けにくく、水にほとんど溶けない。

本品は光によって黄色になる。

融点：172～175℃

## 包装

サントニン原末：5g

## 主要文献

- 1) 森島恵美子：日薬理誌, 57, 353(1961)
- 2) 森下 薫ほか：薬学研究, 22(10), 402(1950)
- 3) 移川二郎ほか：臨床消化器病学, 4(4), 184(1956)
- 4) 岩崎旺太郎：新薬と臨床, 4(1), 1(1955)
- 5) 本田 司：鹿児島大医誌, 10(5), 1528(1958)
- 6) 本田 司：鹿児島大医誌, 10(5), 1541(1958)
- 7) 本田 司：鹿児島大医誌, 10(5), 1548(1958)

## 文献請求先

日本新薬株式会社 学術部 医薬情報課 くすり相談担当  
〒601-8550 京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14  
フリーダイヤル 0120-321-372  
TEL 075-321-9064  
FAX 075-321-9061

製造販売元

 **日本新薬株式会社**  
京都市南区吉祥院西ノ庄門口町14